

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 光薫福祉会	代表者	小林 正信	法人・ 事業所 の特徴	①自治会加入と自治会活動への参加 ②地域行事への参加 ③スクールガードの参加 ④介護保険出前講座の実施 ⑤ゴミ拾い活動の実施 ⑥広報誌の発行 ⑦近隣保育園、小学校との交流 ⑧市内介護事業所との連携、合同研修会の実施
事業所名	ビハーク豆田	管理者	濱野 京子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	4 人	0 人	1	1 人	0 人	2 人	0 人	9 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評の確認	4 月の運営推進会議にて、令和 6 年度のサービス評価（目標）について確認する。	4 月の運営推進会議にて、令和 6 年度のサービス評価（目標）について説明を行った。	改善計画の実施内容についての振り返りを、期間を決めてしたらどうですか？	改善計画（地域評価）の振り返りを 7 月、11 月の職員会議時に行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	運営推進会議後に、事業所内の見学や事業所環境、職員の言葉使い等を専用チェックシートに記載してもらう。	4 月の運営推進会議にて、チェックシートの配布。運営推進会議開催後、各自でシート記入して頂いた。	日常的な事は、会議開催時の様子だけでは分かりません。。	運営推進会議時、14 時～14 時 10 分まで館内外（1～2 階）を拝見してもらい、気づいた点を報告してもらう。
C. 事業所と地域のかかわり	運営推進会議の出席者に、事業所広報誌を配布する。	事業者広報誌を、運営推進会議の出席者に配布する事ができた。	ふれあいサロンも開催していますが、健康状態を考えると参加は難しいと思います。	校区内小中学校生との交流会を再会する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	気候の良い、春秋に利用者と地域の公園等へ出かける。 （年 4 回程度）	春、秋とドライブへ外出。花見シーズンには外出先でお茶菓子を頂いて貰った。	町内行事や近隣公園に出向いて、遊んでいる子供達を見たりするだけでもいいのでは？	月 1 回のスクールガードを 2 回に増やす。

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議にて、地域住民向けアンケートの立案を行う。	運営推進会議にて、地域住民向けアンケート対象者や配布、回収方法、集計等を協議した。	運営推進会議にて地域の困り事等を報告しては？	町内住民向けアンケートを実施。設問に地域の困り事、心配な事等を入れる。
F. 事業所の 防災・災害対策	年に1度、運営推進会議に合わせ防災訓練を行い、様子を確認して頂く。	運営推進会議メンバーに防災訓練の見学をして頂いた。また、消防署担当者より防災訓練等について助言を頂いた。	地域の防災訓練に参加してみてもは？	年2回、運営推進会議メンバーに防災訓練に立ち会って頂き、気づいた点を報告して頂く。